～ あたらしい くらしの風 ～
作家達の研究会　#1
金沢/平盃・酒器・手塩皿
2011年3月18日(金)～4月10日(日)

金沢やその近郊で活躍する若き作家達の試みで、今回は#1として、酒器を中心とした研究会です。
長い文化歴史を持つ金沢からは、いつの時代も伝統を越えた、あたらしい風がおこります。
どうぞ、くらしの中に息づく伝統と新たな風を感じてください。

秋友美穂/金工-築110年以上の町家を改装井上雅子/中世をイメージした手びねりの形
した金澤町家職人工房で制作。に黒、銀、青を用いた月の海の細工。

北嶋直樹/九谷の白い素地にワンポイント

川合孝知/奥さんが轆轤をし、明るい色合いでの染付の作品。
可愛い絵付け。

武田朋美/のびやかな線と独特の色合わせの
楽しい絵付け。

クラフト工房はたの/鍛鉄-鉄の素朴さを生かし
た普遍的なカタチの生活道具。

中田雅巳/轆轤のフォルムを活かした白磁,霽(ﾊﾚ)窯/吉田屋風のこってりした絵付けや、
青白磁、マット黒の作風。シンプルな絵付け。

ﾏｲｹﾙ･ｹﾘｰ/透光性磁器の薄い素地に白い

船木大輔/シャープな線の轆轤の食器と、結晶釉を施し、銀彩の上絵。
摩訶不思議な雰囲気の手びねりの作品。

吉岡正義/やわらかな土物の轆轤成形で、薪窯

山口佳代子/温かみのある柔らかなフォルムと焼成や最近は釉薬の研究にも取り組む。
色味の作品。

吉村安司/地産地消をテーマに、金沢の土、
地元農家の葡萄の木や西瓜の蔓の天然灰を使用。

〔金工･鍛鉄以外はは陶芸です〕